



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 永谷園ホールディングス  
 コード番号 2899 URL <http://www.nagatanien-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永谷 泰次郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長 (氏名) 松村 雅彦

TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	73,403	19.8	3,649	0.4	3,784	1.7	2,676	25.9
29年3月期第3四半期	61,246	1.5	3,663	23.7	3,848	27.2	2,125	39.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,126百万円 (19.0%) 29年3月期第3四半期 2,627百万円 (80.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	74.41	
29年3月期第3四半期	59.13	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	92,656	34,747	36.5
29年3月期	89,869	31,219	34.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 33,788百万円 29年3月期 31,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.75		7.75	15.50
30年3月期		7.75			
30年3月期(予想)				7.75	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,500	24.7	4,850	56.6	4,600	55.0	2,800	125.6	77.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) MAIN ON FOODS, CORP. 、 除外 社 (社名)

(注)詳細は、(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	38,277,406 株	29年3月期	38,277,406 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,295,472 株	29年3月期	2,332,753 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	35,959,471 株	29年3月期3Q	35,949,785 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国やユーロ圏など海外景気の拡大基調を背景に、雇用・所得環境や企業収益に継続的な改善が見られ、緩やかに回復基調で推移いたしました。一方、個人消費においては、将来不安に対する節約志向・低価格志向が依然として続いており、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高734億3百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益36億49百万円（同0.4%減）、経常利益37億84百万円（同1.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことにより26億76百万円（同25.9%増）となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

#### ①国内食料品事業

永谷園では、主力商品の販売促進施策として、ハロウィンの時期に連動したホームパーティー企画や流通店舗様向け企画「エンドディスプレイキャンペーン」などを実施いたしました。また、株式会社日本食糧新聞社が主催する平成29年度「新技術・食品開発賞」を、永谷園グループとして初めて「フリーズドライご飯」シリーズが受賞いたしました。

新商品では、玉子惣菜シリーズの和風メニューとして平成29年8月に発売した、明石焼きをイメージしたやさしい味わいの「ふわふわあんかけ玉子 明石焼き風鰹だし」が好調に推移し、売上に貢献いたしました。

藤原製麺では、北海道産小麦粉を使用し、コシ・風味の良い麺に仕上げた「札幌専門店 生ラーメン3人前」が好調に推移し、売上が伸びました。

以上の結果、国内食料品事業の売上高は534億43百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

#### ②海外食料品事業

Chaucer Groupでは、健康志向の高まる米国市場に対応するため、米国ポートランド工場のフリーズドライ設備を増強し生産能力の向上に取り組むとともに、企業向けフリーズドライフルーツ製品を積極的に販売し売上拡大に努めました。

また、持分法適用関連会社であったMAIN ON FOODS, CORP.につきましては、平成29年10月に株式を追加取得し、過半数の株式を保有することになったため、当第3四半期連結会計期間末に連結の範囲に含めております。なお、同社の売上高は第4四半期連結会計期間より計上されることとなります。

以上の結果、海外食料品事業の売上高は112億円となりました。

#### ③中食その他事業

麦の穂グループでは、「ビアードパパ」において、月替りの限定シュークリームを販売し、売上に貢献いたしました。また、焼きたてフランス菓子のお店「ココフラン」において、9月9日を「ココフランの日」として企画したファン大感謝祭もご好評をいただきました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は87億59百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末においてMAIN ON FOODS, CORP.及び同社の100%子会社であるJSL FOODS, INC.を連結の範囲に含めたことにより、総資産及び純資産が増加しております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より27億87百万円増加し、926億56百万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少したものの、受取手形及び売掛金、機械装置及び運搬具並びにのれんが増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より7億41百万円減少し、579億9百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したものの、短期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は主に、利益剰余金及び非支配株主持分が増加したことにより347億47百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より24億97百万円増加の337億88百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント上昇の36.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね当初計画の範囲内で推移していることから、平成29年5月12日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,734	7,047
受取手形及び売掛金	14,882	17,241
商品及び製品	4,697	4,835
仕掛品	1,336	1,205
原材料及び貯蔵品	5,666	5,370
その他	2,725	2,501
貸倒引当金	△49	△34
流動資産合計	36,994	38,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,006	18,595
減価償却累計額	△11,226	△11,583
建物及び構築物(純額)	6,779	7,011
機械装置及び運搬具	22,284	24,986
減価償却累計額	△15,505	△17,135
機械装置及び運搬具(純額)	6,779	7,850
土地	11,337	11,262
リース資産	2,497	2,359
減価償却累計額	△1,166	△1,150
リース資産(純額)	1,331	1,208
建設仮勘定	103	988
その他	2,381	2,542
減価償却累計額	△1,878	△1,977
その他(純額)	502	565
有形固定資産合計	26,833	28,887
無形固定資産		
のれん	12,625	14,143
その他	178	178
無形固定資産合計	12,804	14,321
投資その他の資産		
投資有価証券	11,132	8,933
その他	2,204	2,436
貸倒引当金	△99	△89
投資その他の資産合計	13,237	11,280
固定資産合計	52,875	54,489
資産合計	89,869	92,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,020	9,211
短期借入金	16,015	6,883
未払法人税等	1,075	1,023
賞与引当金	617	297
資産除去債務	3	1
その他	9,239	8,858
流動負債合計	35,972	26,276
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	8,683	17,108
役員退職慰労引当金	47	65
退職給付に係る負債	500	420
資産除去債務	236	255
その他	3,209	3,782
固定負債合計	22,677	31,632
負債合計	58,650	57,909
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,331	6,198
利益剰余金	24,388	26,484
自己株式	△2,082	△2,051
株主資本合計	32,140	34,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,146	2,903
繰延ヘッジ損益	△99	—
土地再評価差額金	△3,429	△3,406
為替換算調整勘定	593	186
退職給付に係る調整累計額	△61	△29
その他の包括利益累計額合計	△849	△346
非支配株主持分	△71	959
純資産合計	31,219	34,747
負債純資産合計	89,869	92,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,246	73,403
売上原価	32,621	41,851
売上総利益	28,624	31,552
販売費及び一般管理費		
販売促進費	9,577	9,673
賞与引当金繰入額	177	174
退職給付費用	221	197
その他	14,985	17,857
販売費及び一般管理費合計	24,961	27,903
営業利益	3,663	3,649
営業外収益		
受取利息	15	5
受取配当金	118	154
持分法による投資利益	51	19
為替差益	146	47
不動産賃貸料	75	116
その他	110	74
営業外収益合計	517	418
営業外費用		
支払利息	121	168
社債発行費	62	—
その他	149	114
営業外費用合計	332	283
経常利益	3,848	3,784
特別利益		
段階取得に係る差益	—	76
固定資産売却益	—	34
投資有価証券売却益	—	435
補助金収入	11	23
特別利益合計	11	569
特別損失		
固定資産売却損	10	—
減損損失	196	50
投資有価証券売却損	—	8
投資有価証券評価損	34	—
店舗閉鎖損失	14	22
保険解約損	—	10
特別損失合計	256	91
税金等調整前四半期純利益	3,602	4,262
法人税等	1,465	1,617
四半期純利益	2,137	2,645
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△30
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,125	2,676

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,137	2,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	865	756
繰延ヘッジ損益	—	99
為替換算調整勘定	△44	△312
退職給付に係る調整額	37	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△368	△94
その他の包括利益合計	490	481
四半期包括利益	2,627	3,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,615	3,156
非支配株主に係る四半期包括利益	12	△30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったMAIN ON FOODS, CORP.の株式の一部を追加取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、当社グループは連結子会社が2社増加しております。なお、MAIN ON FOODS, CORP.は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	53,150	—	8,096	61,246	—	61,246
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6	—	3	9	△9	—
計	53,157	—	8,099	61,256	△9	61,246
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	3,994	—	△47	3,946	△282	3,663

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△282百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△282百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間より、Broomco (3554) Limitedを含む14社を連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「海外食料品事業」において15,757百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「中食その他事業」セグメントにおいて108百万円、報告セグメントに配分されない全社資産において88百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間に、Broomco (3554) Limitedを含む14社を連結子会社としたことに伴い、「海外食料品事業」セグメントにおいて、のれんが7,122百万円増加しております。

なお、のれんの金額につきましては取得原価の配分が完了していないため、暫定的に計算された金額であります。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	53,443	11,200	8,759	73,403	—	73,403
セグメント間の内部売上高又は 振替高	95	—	41	136	△136	—
計	53,538	11,200	8,801	73,540	△136	73,403
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	4,080	195	△230	4,045	△396	3,649

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△396百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間より、MAIN ON FOODS, CORP.を含む2社を連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「海外食料品事業」において2,131百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間に、MAIN ON FOODS, CORP.を含む2社を連結子会社としたことに伴い、「海外食料品事業」セグメントにおいて、のれんが2,116百万円増加しております。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。